

研究部の活動 2018年

今年度も前年に引き続き、東京湾のミヤコドリの生態調査・研究、越冬期の調査、東京都・全国鳥類繁殖分布調査への協力。そして『東京の野鳥たち～月例探鳥会7か所・20年間の記録～』の続刊発行など1年を通して活動をします。

その様子は『ユリカモメ』や研究部ホームページ〔※〕で発表しますので、ぜひご覧ください。そして、積極的に部会や調査に参加・協力をお願いします。

1. 東京湾のミヤコドリの生態調査・研究

〈裏表紙もご覧ください〉

昨年から本格活動を始めた東京湾でのミヤコドリの生態調査。今年からは一步進めて研究分野へも進む予定です。生息地がなぜ三番瀬や葛西海浜公園だけなのか・どこから来るのだろうか・国内の他の地域の状況は、などなど。どれだけ進展できるのかは判りませんがご参加ください。観察記録や生態写真、新情報などもお願いします。



ミヤコドリの調査(松平晶子氏撮影)

2. オオタカ・ノスリの一斉調査 カモを中心とした個体数調査

昨年、オオタカは希少種指定が解除されました。理由は“個体数が増えたから”ですが、異論も多いのが実情です。実際どのくらいいるのか、4年前の冬から「東京23区」を対象に調べていますが、今年からは範囲を広げて「東京および近郊」として調査します(23区は従来通り)。近郊の任意の場所で調査・報告をお願いします。一斉調査日時は1月7日(日)午前10～12時。詳細は前号12月号をごらんください。

3. 東京都鳥類繁殖分布調査・全国鳥類繁殖分布調査への協力

バードリサーチが中心となって展開している大規模な調査活動。昨年は伊豆諸島・小笠原諸島の調査が一気に進展しました。今年には繁殖期の現地調査のほか、日ごろの観察記録を整理して、「アンケート調査」へご協力ください。

4. 『東京の野鳥たち』の続刊作成

当会の「月例探鳥会」は10か所、今回残りの3か所を掲載するとともに、東京湾岸の5か所の記録の比較検証、新浜・明治神宮・高尾山での50～70年にわたる記録を整理して載せるという企画です。月例探鳥会の意義のひとつが完成します。

5. 研究部例会・鳥信・ホームページの充実

毎月第2金曜日・夜7～9時に当会事務局で例会を開いています〔変更することがあります〕。どなたでも参加自由ですのでご参加ください。鳥信・研究部のホームページも充実させていきます。

※研究部ホームページアドレス <http://www.yacho-tokyo.org/birdstudy/>

お詫びと訂正

ユリカモメ2017年11月号「研究部レポート」の17ページ、稀な記録 シジュウカラガンの観察期間の部分を「2016年3月20日～4月15日」と記載しましたが、正しくは「2017年3月20日～4月15日」です。お詫びして訂正いたします。